

令和7年度 第1回 摂津市立男女共同参画センター運営委員会 要点録

日 時：令和7年7月22日(火)午後2時～午後3時30分

場 所：摂津市立男女共同参画センター 交流室

出席者：摂津市立男女共同参画センター運営委員4名（欠席者2名）

事務局：人権女性政策課 職員2名 活動専門員1名 女性相談支援員1名

案 件：(1) 令和6年度事業報告
(2) 令和7年度事業計画
(3) その他

配布資料：・資料1 令和6年度事業報告書

・資料2 令和7年度摂津市立男女共同参画センター事業計画

・資料3 男女共同参画市民企画協同事業チャレンジ企画事業決定について

・講座チラシ等3種

案件(1)令和6年度事業報告

【利用状況・事業内容】

- ・交流室利用件数合計は452件。7月は平和資料展、10月は推進団体による展示で多かった。
- ・子どもの一時保育利用は延べ131人で前年度とほぼ同数。特に相談業務においては増加傾向。子育て世代の講座受講を促すため、引き続き継続する。
- ・主な講座として「男女共同参画セミナー」があるが、「ウィズせつつカレッジ2024」の入学記念講演を兼ね、119人の参加があった。この講演を皮切りに全10回の「ウィズせつつカレッジ2024」を開催し、延べ250人が参加し、修了生は15名であった。うち1名が「女性人材登録制度」に登録した。
- ・審査を経てチャレンジ企画決定し、3企画を男女共同参画センターと協働で実施した。3企画のうち「ウィズみつつの会」は令和5年度カレッジ修了生のグループである。
- ・ウィズせつつフェスタ2025「国際女性デーパネル展」では、ミモザツリーのパネルを作成した。来場者に「自分のためにしたいこと」「自分への感謝の言葉」などをメッセージカードに記入し、パネルに貼り付けてもらい参加型の展示とした。

【アンケート結果】

- ・受講者の男女比は女性が82%、男性が16%で、男性が昨年度より2ポイント増加。
- ・年齢の割合は、60代から80代で6ポイントの増加となり半数を占めた。
- ・参加回数は、「はじめて」と「2回以上」がほぼ同数。男女共同参画に関心をもってもらいきっかけとなった。
- ・内容・講師ともに「よかった」「どちらかといえばよかった」が9割で満足度は高い。

【団体の活動支援】

- ・男女共同参画推進団体の交流会は、団体相互の交流を深める場として7月に実施。

- ・男女共同参画推進団体登録説明会は1月に行い、審査を経て3月に令和7年度の登録団体を決定。

【情報】

- ・令和6年3月末現在の蔵書数は3,923冊。視聴覚資料は168本。
- ・毎月発行の「セミナーガイド」は、講座や企画募集、相談日などの案内。
- ・図書の貸出数は前年比約18%の減で、新規図書登録者数は約17%減。

【相談】

- ・女性のための相談事業として、ウィズせつつ女性のための相談室を運営。
- ・DVを含む女性のための様々な悩みについて相談員が電話や面談を行う総合相談、フェミニストカウンセラーが心の悩みの相談に応じる面接相談(カウンセリング)、女性弁護士が女性の立場から法律上の問題に応じる法律相談の3形態で実施。
- ・総合相談件数は814件。「精神問題」が最も多く全体の約20%、「夫等暴力」が約18%、「離婚問題」が約13%と続く。
- ・総合相談は約37%増加。カウンセリングは約24%の減、法律相談は約19%の減。
- ・大阪人間科学大学では、デートDV防止ユースリーダー養成講座を4回実施。
- ・相談事業の予防・啓発を目的としたデートDVに関する出前講座は、2つの中学校で実施。

【質疑】

- (委員) 性別の選択肢の欄で「わからない・回答したくない」という記載があるが、ネガティブな選択肢で拒否しているように感じる。何かポジティブな選択肢とならないか。
- (事務局) 男性・女性だけではなくLGBTQ+の方も選択できるように、申請書等においては一定、統一している。今回はテーマに関心があった方が参加したのでないかと捉えている。
- (委員) ネガティブな表現ということに賛同できる。他の所でも、どう表現するか過去に議論したことがある。これからの課題である。
- (委員) どちらでもない、言いたくない、その一方で言いたい方もいる。
- (委員) ノンバイナリーがどちらでもないという選択肢に当てはまるかもしれないが、カタカナなので難しいかもしれない。
- (委員) 中学校のデートDV出前授業の生徒数に対して参加者が少ないが、積極的に受講したくない生徒がいるのか。
- (事務局) アンケートの結果から集計しているが、アンケートを提出していないか、通常の欠席であると認識している。
- (委員) アンケート結果からも生徒もデートDVに理解を深めていることが分かる。中学校で様々な問題が多発している。人を大事にするといったことを学んでほしいので、今後も啓発を続けていくことを希望する。
- (事務局) 3月～4月に校長会等を通じてPRしている。学校のカリキュラムもあり、学校によってばらつきがある。機会を見て今後も案内していきたい。
- (委員) 大阪人間科学大学での講座は連続講座の実施か。また単位に含まれるのか。毎年実施されて

おり評価できる。

(事務局) ゼミの一環として連続講座で実施している。今後はゼミの体制により、受け入れ可能か懸念されるところもあるが継続していく。受け入れが不可の場合も、ゼミ形式の連続講座は難しいが、オリエンテーション等の機会で啓発していきたい。

(委員) 相談の中で「精神問題」「人間関係」が増えているが、夫婦の人間関係の難しさが数字に表れているのか。

(事務局) 「精神問題」で件数が多くなっているのは電話での匿名の相談。話の内容から精神疾患をお持ちで複数回相談される相談者が複数おられる。来所相談になると、多くは「夫婦関係」の中にはDVも含み、その後、法律相談に至るケースも多い。

案件(2)令和7年度事業計画について

【講座開催事業】

- ・今年度のウィズせつつカレッジは「必須講座」に加え「選択講座」を設け、より関心のある講座を学んでいただくよう一部変更している。なお、選択講座は一般の方も受講可能。
- ・これまでに実施したものは、「若年層の性暴力被害予防パネル展」で、このパネル展は今年度から新たに実施したもの。パネルを展示するとともに、新生活で「楽しみなこと」「不安なこと」などを「メッセージカード」に書いたものをボードに貼り付けてもらい、参加型の展示とした。
- ・今後は7月26日に「家族介護は誰がする」、7月27日に「笑いで学べる防災落語」、11月23日に「パープル&オレンジリボンセミナー」を実施予定。

【活動・交流支援事業】

- ・チャレンジ企画事業は2団体から応募があり、審査の結果2企画を採用。センターと調整を行い今年度下半期に実施する。
- ・ジャンプ企画は現在7企画、ふらっと企画は2企画。今後も申請があれば随時実施する。
- ・ウィズせつつフェスタは、啓発の展示は先行し、イベント・発表は3月7日に実施する。
- ・男女共同参画推進団体による交流会は7月21日に実施。男女共同参画について、改めて考えるきっかけとし、ワークや団体の他己紹介を行い参加型の交流会とした。

【情報収集・提供事業】

- ・今年度から新たに「若年層の性暴力被害予防パネル展」を実施した。今後、「ガールズユースパネル展」も実施していく。

【女性問題相談事業】

- ・若年層へのDV予防啓発として、市内中学校等への出前講座を引き続き実施予定。大阪人間科学大学と連携したユースリーダー養成講座を7月から開講。

【質疑】

(委員) 「若年層の性暴力被害予防パネル展」では、メッセージカードを通じて子ども達の声を開けたのは

良い。子どもは聞けば色々な意見が出てくるので、今後も続けてほしい。

(委員) チャレンジ企画は2件であったが、例年に比較して少ない。何か要因はあるか。

(事務局) 団体に案内を行ったが、もう少し早い段階から声掛けも必要であったのかも知れない。一方で昨年度採用されなかった団体が今年度もう一度チャレンジし、採用された。

(委員) 労働に関する講座では導入部分で終わるのではなく、資格を応援するであるとかスキルアップできるような講座の実施はいかがか。

(委員) チャレンジや社会進出に関する講座は何か決まっているか。

(事務局) 商工会と共催の創業支援セミナーを計画している段階。

(委員) 女性の労働に関しては、働くことについて困っている人が多くいる。生活に直結しているので深刻さに寄り添えるように、また、課題が洗い出せるような講座はどうか。

(委員) 労働に関する講座については、他のセンターでは女性の労働問題に切り込んでいく講座を実施しているところも見受けられる。センターで個別の対応は難しいと思うが、もう少し問題意識があってもいいかと思う部分はある。

(委員) 相談の内訳の中で、労働に関する相談はどうか。

(事務局) 件数は少ない。労働に関しては別の部署で毎週水曜日に労働相談を行っているが、そちらも件数は少ない印象。

(委員) 働いている女性の視点、例えば、子育て、働き方、保育所、就業のあり方など一歩踏み込めば、今の若い女性の課題もたくさんあると思う。時代の変化とともに考え方も変わっている。

(委員) 他のセンターでも就労支援が多いが、今働いている方も色々ニーズがあり、ある課題を打開したい、解決したいというようなこともあるかと思う。

(事務局) 労働部門との連携も考えていきたい

案件(3)その他

- ・第2回運営委員会の開催は令和8年2月頃の予定。